

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 県立佐渡中等教育学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☒ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒 952-0005
新潟県佐渡市梅津 1750 番地

E-mail school@sado-ss.nein.ed.jp

Website http://www.sado-ss.nein.ed.jp

児童生徒数 男子 142 名 女子 214 名 合計 356 名
 児童・生徒の年齢 13 歳～18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☒ 平和・人権
- ☐ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☒ エネルギー
- ☐ 防災
- ☐ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○オーストラリア海外研修でのホームステイをとおして、佐渡の地域を発信し、国際社会の中で日本や佐渡の芸能や文化をパワーポイントを使って発信した。これらの活動により、生徒たちが世界中の人々の多様な思考、生活様式に対して理解を深めることができた。

○地元の大学へ赴き、講義に参加し、直接大学で講義を聞くことで、医学、人文、経済、法学などの学問を学び、現代生活と学問の接点を知り、自己の将来像を構築するきっかけを作った。

○地元の東新潟火力発電所、新潟雪国型メガソーラーを見学し、そこで、生徒たちは最新の技術とこれからの新潟のエネルギー事情、さらに日本のエネルギーのあり方を学び、人と自然の関係について見直すきっかけとなった。

○生徒たちが、さまざまな職業を知るために「佐渡汽船」「佐渡総合病院」「佐渡中央図書館」などを訪問し、労働の経験をすることにより、社会に出て認められる態度を育成し、事後にグループ毎に成果や提言を行った。

○世界規模で地球環境を考え、地元で行動するために、事前学習で佐渡市環境副読本を利用しながら佐渡の環境について学び「加茂湖」周辺のゴミ拾い活動と環境調査を実施した。また生徒会中心に学校近隣の清掃活動を中心にボランティア活動を立案し、実行した。

○生徒たちが佐渡独自の文化や伝統を理解して深めるために、佐渡の伝統文化である「能楽」を学んでいる。昨年夏に佐渡島内の能舞台で鑑賞し、生徒自身も「能」の謳いを披露して伝統文化の一翼を担う活動をした。

○「イングリッシュデイリーキャンプ」を実施し、佐渡に赴任している ALT と昨年夏に佐渡島内の高校と連携してライオンズクラブで来島した留学生とグループ単位で英語でコミュニケーションしながら交流した。

○佐渡島内の「小学生、中学生、高校生スピーチコンテスト」に4名が参加した。この活動を通じて、事前学習、発表、評価により生徒の英語力、自己表現力を向上させ、異文化理解を促すことができた。

○生徒達が身の回りの問題を特定して考察し、創造的思考で問題を解決するために情報を集めて活用し、それらを正確にかつ効果的に提示して伝える能力を涵養していきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（

）